

指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名: 健康福祉部

1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	三重県身体障害者総合福祉センター (津市一身田大古管670番地2)
指定管理者の名称等	社会福祉法人三重県厚生事業団 理事長 宮村 由久 (津市一身田大古管670番地2)
指定の期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの事業に関する業務 (生活援助棟としての業務、福祉センターA型としての業務) ・センターの施設及び設備の利用の許可等に関する業務 ・センターの利用料金の收受等に関する業務 ・センターの維持管理及び修繕に関する業務 ・その他センターの管理上必要と認める業務

2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H18	B		<p>生活援助棟部門では、指定障害者支援施設として自立訓練等の日中活動や施設入所支援、福祉センターA型部門では、通院や通所等の各種リハビリテーション、障がい者スポーツ大会等、これまでのセンター運営で蓄積された専門性・ノウハウ・スキルを活かし、事業を適切に実施している。</p> <p>また、施設設備の維持管理及び修繕については、管理に関する基本協定書・年度協定書に定める仕様に従い、概ね適切に実施している。</p>
H19	B		
H20	B		
H21	B		
H22	B		

3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H18	C		<p>生活援助棟部門では、医療機関との連絡体制を強化し、受傷後から社会復帰後の支援まで関わるなど、利用者の社会復帰に貢献することなどにより、高い利用率を維持している。</p> <p>また、福祉センターA型部門では、通院・通所、理学・作業・言語聴覚の各療法訓練、訪問などの各種リハビリテーションの件数や恒例行事として対象者に根付いてきている県障がい者スポーツ大会等の参加者数などは、順調に推移している。</p> <p>これは、職員のスキルアップ向上を積極的に進めるとともに、苦情を「ありがたい意見」として汲み取り、サービスの質の向上に努めた結果であると評価できる。</p>
H19	B		
H20	B		
H21	B		
H22	B		

4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
指定管理料	748,064,307	事業費	227,056,776
利用料金収入	846,430,580	管理費	1,486,628,372
その他の収入	165,962,447	その他の支出	24,734,657
合計 (a)	1,760,457,334	合計 (b)	1,738,419,805
収支差額 (a)-(b)	22,037,529		

※参考

利用料金減免額	—
---------	---

5 成果目標及びその実績

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間における成果目標及びその実績						
			成果目標項目	目標値	H18実績値	H19実績値	H20実績値	H21実績値	H22実績値
H18	B		生活援助棟利用者率	96%	88%	100%	96%	95%	91%
			地域生活移行率	50%	51%	48%	82%	78%	48%
			利用者満足度	60%	69%	76%	80%	81%	88%
H19	B		三重県障がい者スポーツ大会・ふれあいスポレク祭参加人数	2,500人	2,733人	2,576人	3,110人	2,564人	2,770人
			各種研修参加者数	3,500人	2,129人	1,808人	1,672人	1,811人	1,515人
H20	B		市町地域における障がい者スポーツ教室の開催支援(指導員の派遣)	24日/年	10日/年	38日/年	44日/年	39日/年	35日/年
			公的機関などの主催による研修会講師派遣	50日/年	32日/年	49日/年	45日/年	34日/年	33日/年
			自助具製作件数	85件/年	77件/年	68件/年	103件/年	113件/年	122件/年
H21	B		出張スポーツ教室	36件/年	7件/年	10件/年	9件/年	3件/年	0件/年
			障がい者スポーツ指導員の養成	60人/年	49人/年	76人/年	46人/年	26人/年	25人/年
			運動場利用者	9,200人/年	23,454人/年	12,111人/年	12,334人/年	14,117人/年	12,598人/年
			テニスコート利用者	8,100人/年	7,007人/年	7,168人/年	6,613人/年	7,586人/年	6,464人/年
H22	B		リフトバス運行	200回/年	147回/年	107回/年	101回/年	71回/年	91回/年
			みえ福祉用具フォーラム参加者	400人/年	436人/年	146人/年	211人/年	282人/年	284人/年
			実習生の受入	140人/年	221人/年	20人/年	19人/年	62人/年	19人/年
			ボランティア受入	120人/年	187人/年	195人/年	642人/年	402人/年	593人/年
全期間におけるコメント									
<p>県設定指標である生活援助棟利用者率及び地域生活移行率については、ほぼ成果目標値に近い実績値で推移している。利用者満足度は数値が向上しており、利用者のニーズにきめ細かく対応してきた結果と評価できる。</p>									

6 総括評価

<p>・早期リハビリテーションにつながるよう、各地域の医療機関等との連携や障がい者個々に対応した個別支援計画など県民の多様なニーズに対応するとともに、自立訓練(機能訓練)や高次脳機能障がいに対する訓練を実施する県内唯一の施設としての専門的なサービスを実施するなど、身体障がい者福祉の向上を目指した取組がはかられている。</p> <p>・県障がい者スポーツ大会や障がい者スポーツ指導員などによる障がい者スポーツの普及、各種リハビリテーションの実施など、福祉センターA型の業務を適切に実施している。</p> <p>・利用者個々のニーズに応じた障がい福祉サービスの実施、利用者からの意見を事業や施設管理に反映したことなどにより、利用者満足度の向上につながっている。</p> <p>・成果目標のうち達成できなかった項目については、その要因を分析し、改善をはかっている。なお、達成できなかった項目の中には、利用者ニーズが変化した項目や事業の進捗により事業目的が変化している項目が含まれている。</p> <p>・利用者が快適な環境で利用できるよう、日常点検により修繕箇所等に適切に対処するなど、施設の適正な維持管理がはかられている。</p> <p>・危機管理に関する計画を策定し、避難訓練等を実施するなど、利用者の安全・安心をはかるための取組を適切に実施している。</p> <p>以上のことから、今回の指定管理期間の管理では、蓄積されたノウハウ・スキルを十分に発揮した管理運営・事業展開により、三重県身体障害者総合福祉センターが、設置目的である「身体障がい者の福祉の増進」に向けた施設として、適切に運営されていると評価できる。 なお、平成23年度から2期目の指定管理者として社会福祉法人三重県厚生事業団が引き続き指定されていることから、三重県身体障害者総合福祉センターのより良い活用に努めていくことが期待される。</p>

- ※ 「2 管理業務の実施状況」の自己評価 :
- 「A」 → 業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 業務計画を順調に実施している。
 - 「C」 → 業務計画を十分には実施できていない。
 - 「D」 → 業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
- ※ 「3 施設の利用状況」
 「5 成果目標及びその実績」の自己評価 :
- 「A」 → 当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
 - 「B」 → 当初の目標を達成している。
 - 「C」 → 当初の目標を十分には達成できていない。
 - 「D」 → 当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
- ※ 県の評価 :
- 「+」(プラス) → 指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
 - 「-」(マイナス) → 指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
 - 「 」(空白) → 指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。